

2-2 健康づくりの推進

誰もが心身ともに健康でいきいきと暮らすことができる環境づくりを進めます。

■現状と課題

- ①生涯を通して健康で自立した生活を送ることは、全ての人の願いであり、平均寿命の延伸以上に健康寿命を延ばしていくことが、個人の生活の質の向上や社会的負担の軽減につながります。健康寿命を延ばすためには、生活習慣を改善し生活習慣病を予防する一次予防に重点を置いた健康づくりを推進していく必要があります。
- ②生活習慣病には、重症化するまで症状が表れず医療機関受診につながりにくいという傾向があります。生活習慣病のリスクがある方に初期段階で介入する重症化予防対策に取り組んでいく必要があります。
- ③健康でかつ医療費が少ない地域の背景に「良いコミュニティ」があると言われていますが、地域における人と人とのつながりは弱まっています。個人での取り組みに加え、自治体、企業、市民団体等、地域ぐるみで健康づくりに取り組んでいく必要があります。
- ④医療は、市民が地域で安心して暮らすうえで欠かせません。休日・夜間の急病時にも医療を受けられる体制が求められています。
- ⑤軽度な病気でも大学病院などの高度医療実施機関を受診している傾向にあります。かかりつけ医を持つことの有効性についての周知、症状の軽い方は休日や夜間診療を利用しないなど、救急医療利用の適正化に向けた啓発活動を行う必要があります。
- ⑥感染症は現在でも世界における主要な死亡原因であり、新たな感染症の発生は、健康被害とそれに伴う社会経済的ダメージが懸念されます。予防接種や検診などの感染症予防対策を進めていく必要があります。

■主な取組

市民の自主的な健康づくりの推進(現状と課題:①②③)(健康づくり支援課)(国保年金課)

- ・市民の健康寿命の延伸をめざして、生活習慣の改善や生活習慣病の発生を予防する一次予防に重点を置き、健康や食育、歯と口腔の健康づくりに関するさまざまな取り組みを総合的かつ計画的に進めます。
- ・各種健(検)診時や健康啓発事業などの開催や生活習慣を改善するための情報提供を通じて、市民の自主的な健康づくりを支援していきます。
- ・特定健康診査、がん検診、脳ドックをはじめとした生活習慣病予防対策に取り組むとともに、その重要性をPRし、受診率の向上を図ります。
- ・生活習慣病のリスクがある方に保健指導や受診勧奨を行う等、重症化予防対策に取り組めます。
- ・市民、市民団体、自治体、企業等、地域ぐるみで啓発イベントを開催するなど健康づくりの推進を図ります。

